

グラフでみる加工食品の 生産・販売・外食等の指標



目次

< グラフでみる "コロナショック"からの再生 >

1. 加工食品の生産動向
2. 食品卸売業・食品小売業
3. 外食産業
4. 食料品の物価

< 今月のトピック >

- ・農林水産物・食品の輸出動向
- ・マクロ統計からみた2020年度コロナショック2



1. 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

食品需給研究センターでは、食品製造業の月次生産動向について、調査・分析業務（農林水産省「食品産業動態調査」）として実施しています。

ここでは、加工食品の調査対象のうち、特に今般の新型コロナウイルス感染症の影響が大きい品目の生産動向（増減率、速報値）についてとりあげます。

なお、詳細は、<https://www.fmric.or.jp/stat/index.html>

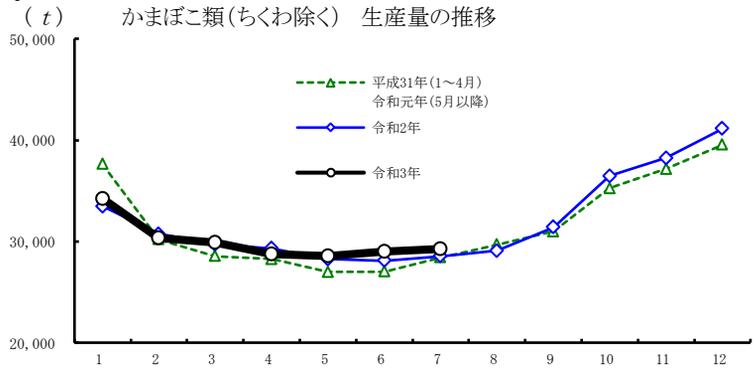
「食品製造業の生産動向」をご覧ください。

○ かまぼこ類

生産量 対前年同月比

7月 2.6% 増加

対前々年同月比 2.9% 増加

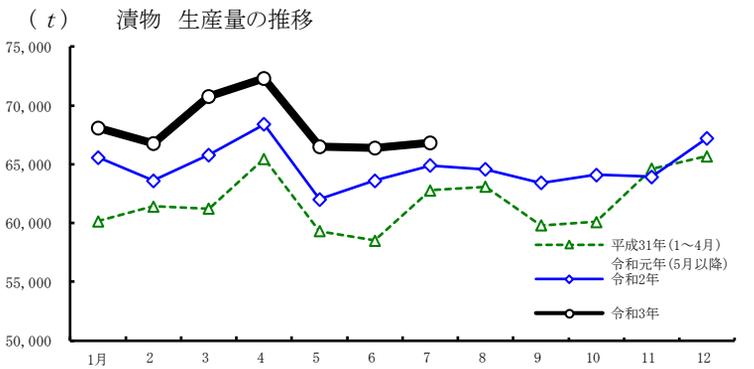


○ 漬物

生産量 対前年同月比

7月 3.0% 増加

対前々年同月比 6.4% 増加

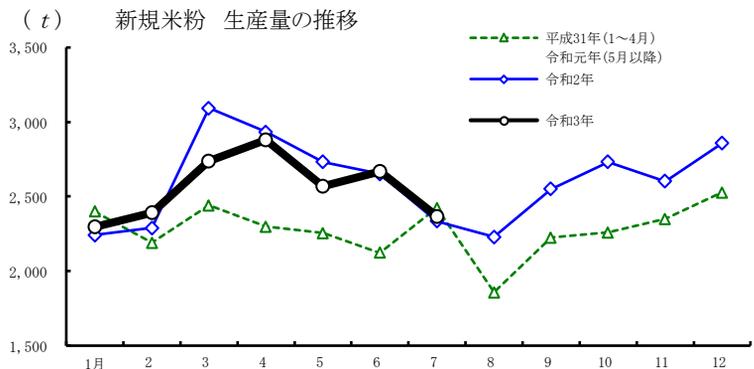


○ 新規米粉

生産量 対前年同月比

7月 1.2% 増加

対前々年同月比 2.4% 減少

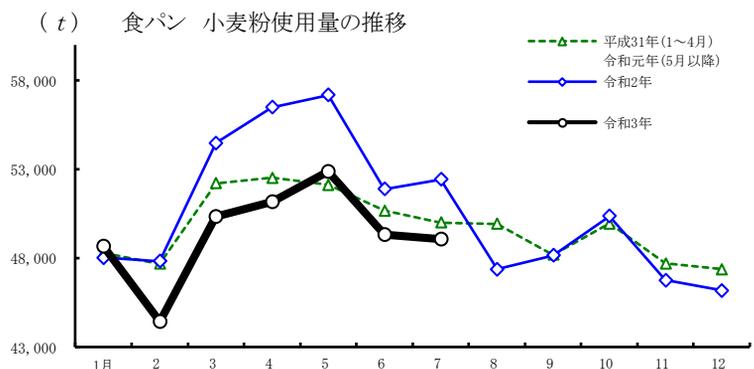


○ 食パン

小麦粉使用量 対前年同月比

7月 6.4% 減少

対前々年同月比 1.9% 減少



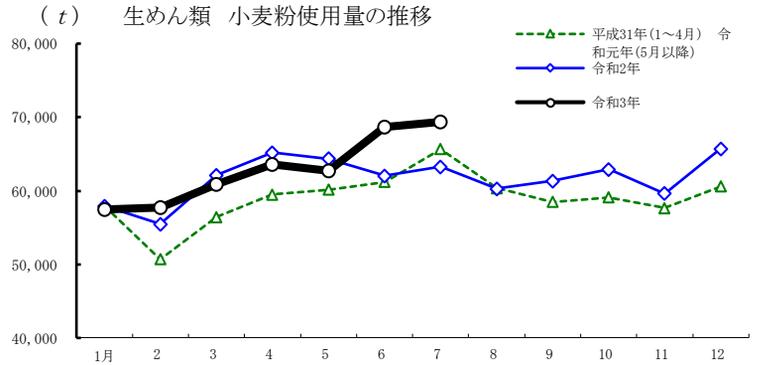
1. 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ 生めん類

小麦粉使用量 対前年同月比

7月 9.7% 増加

対前々年同月比 5.7% 増加

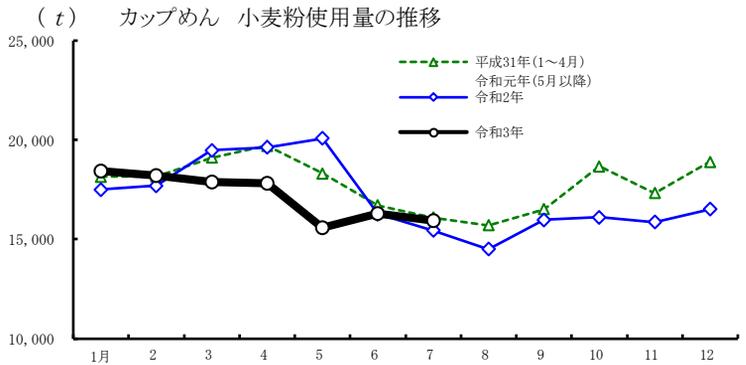


○ 即席カップめん

小麦粉使用量 対前年同月比

7月 3.2% 増加

対前々年同月比 1.0% 減少

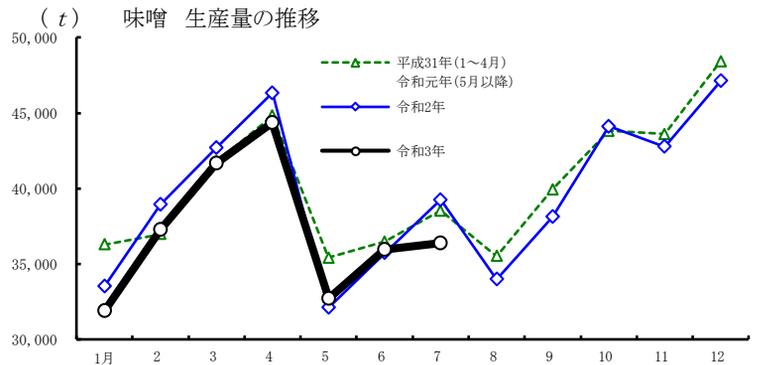


○ 味噌

生産量 対前年同月比

7月 7.3% 減少

対前々年同月比 5.5% 減少

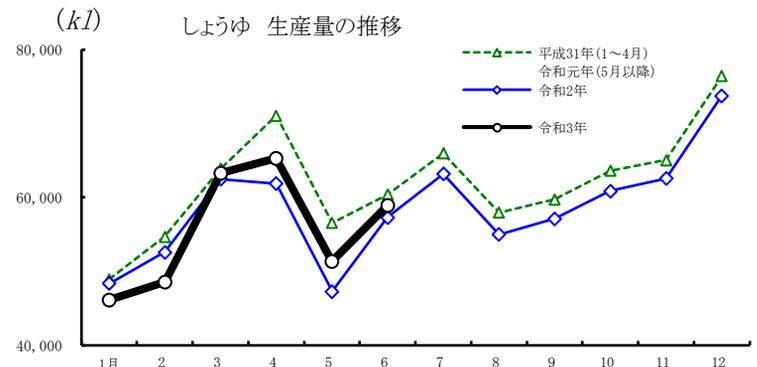


○ しょうゆ

生産量 対前年同月比

6月 2.8% 増加

対前々年同月比 2.4% 減少



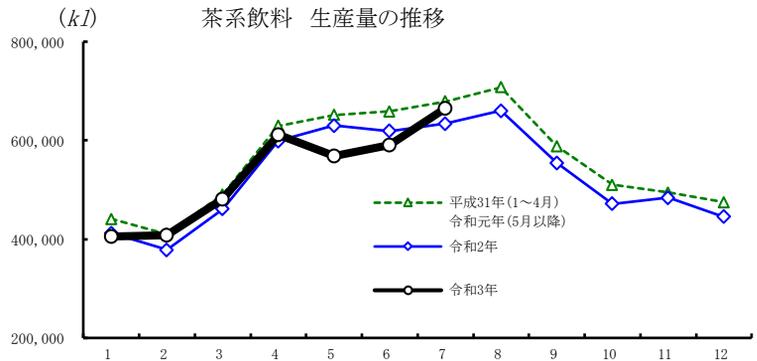
1. 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ 茶系飲料

生産量 対前年同月比

7月 5.0% 増加

対前々年同月比 **2.1% 減少**

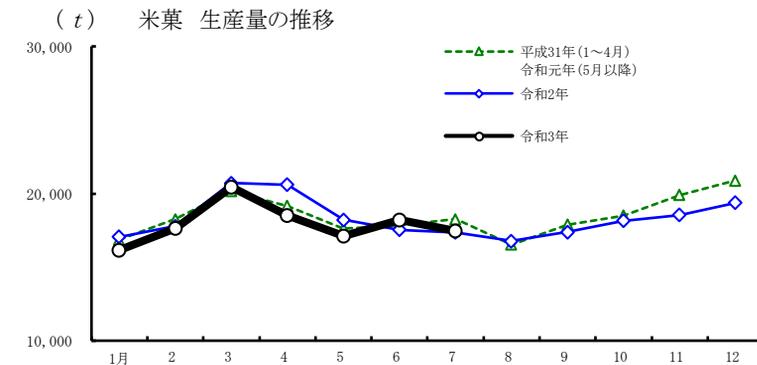


○ 米菓

生産量 対前年同月比

7月 0.6% 増加

対前々年同月比 **4.4% 減少**

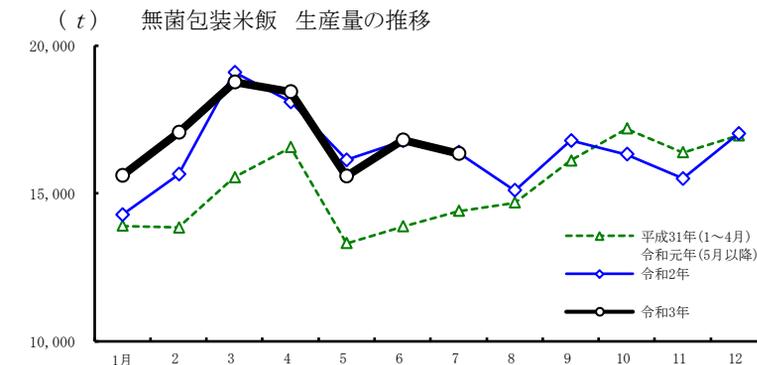


○ 無菌包装米飯

生産量 対前年同月比

7月 0.2% 減少

対前々年同月比 **13.5% 増加**

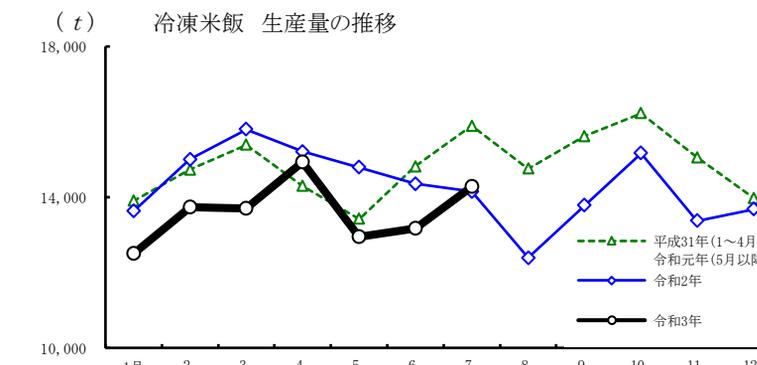


○ 冷凍米飯

生産量 対前年同月比

7月 1.0% 増加

対前々年同月比 **10.1% 減少**



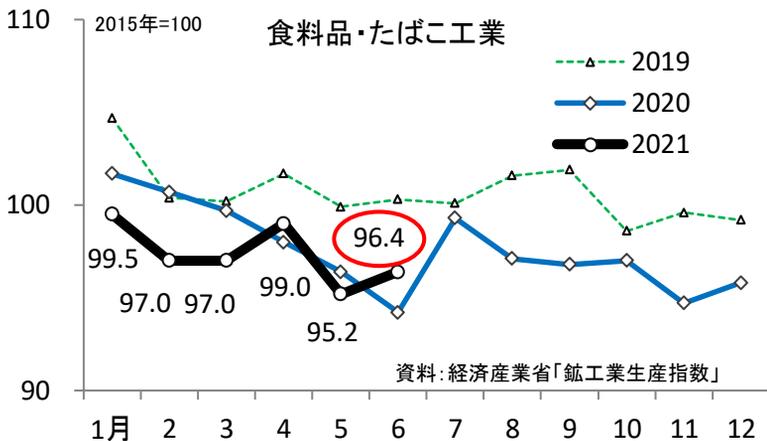
<参考> 食料品・たばこ工業の生産動向
(経済産業省「鉱工業生産指数」より)

○ 食料品・たばこ工業

生産指数 対前年同月比

6月 2.3% 上昇

※経済産業省「鉱工業生産指数」は、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動の統計。食品製造業の月次の生産動向について、みることができます。



2. 食品卸売業・食品小売業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ 食料・飲料卸売業

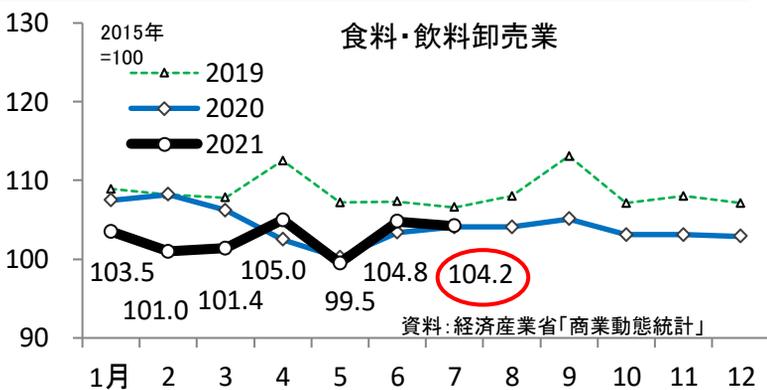
売上高 対前年同月比

7月 0.1% 増加

対前々年同月比 2.3% 減少

経済産業省「商業動態統計」は、全国の商業を営む事業所及び企業の販売活動の統計。

具体的には、卸売業、小売業及び小売業の業態別(スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の飲食料品都等の売上高(月次速報))について、みることができます。

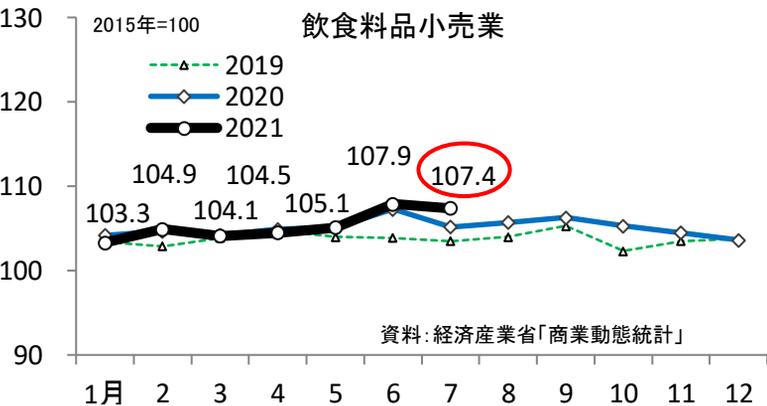


○ 飲食料品小売業

売上高 対前年同月比

7月 2.1% 増加

対前々年同月比 3.8% 増加

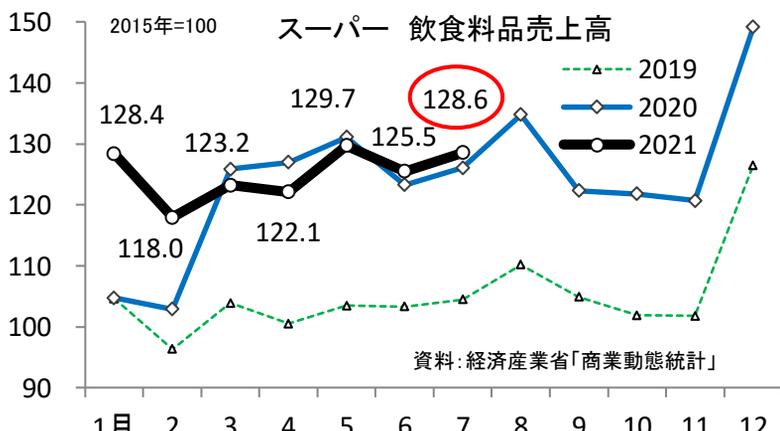


○ スーパー

飲食料品売上高 対前年同月比

7月 1.9% 増加

対前々年同月比 23.0% 増加



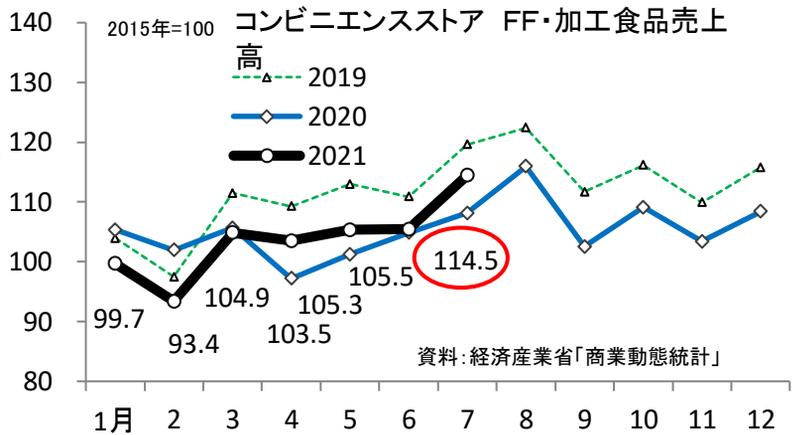
2. 食品卸売業・食品小売業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ コンビニエンスストア

FF・加工食品売上高 対前年同月比

7月 5.9% 増加

対前々年同月比 4.3% 減少

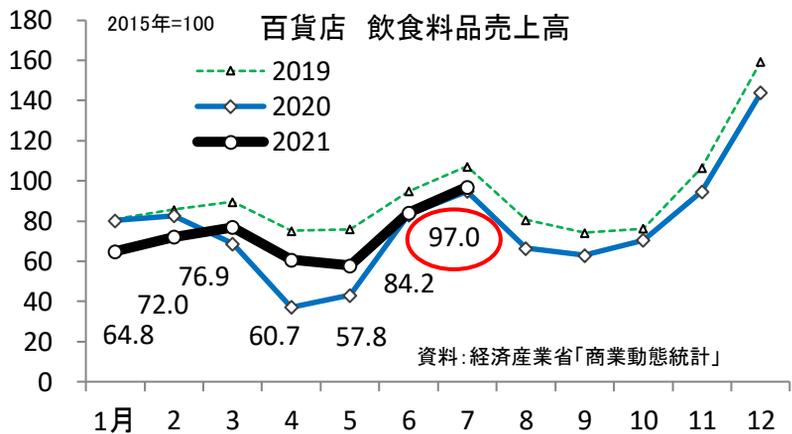


○ 百貨店

飲食料品売上高 対前年同月比

7月 2.2% 増加

対前々年同月比 9.6% 減少



3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

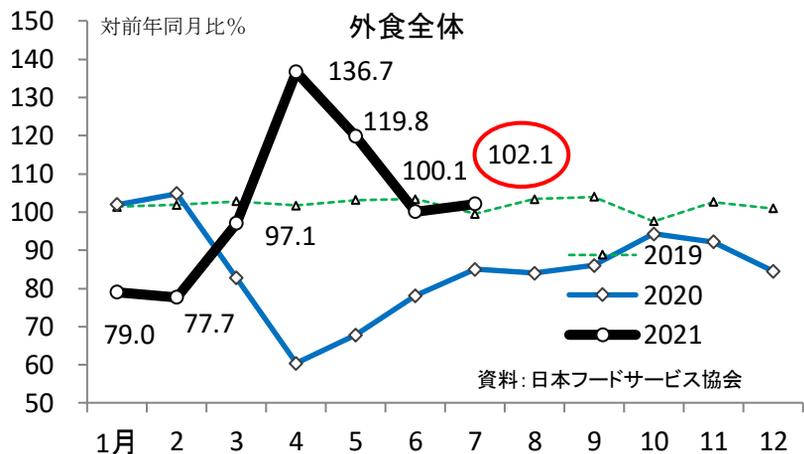
一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査」は、外食チェーン企業203社約3万9千店の売上高等についての業態別の統計。直近の売上動向がわかります。

○ 外食全体

全店売上高 対前年同月比

7月 2.1% 増加

対前々年同月比 13.2% 減少



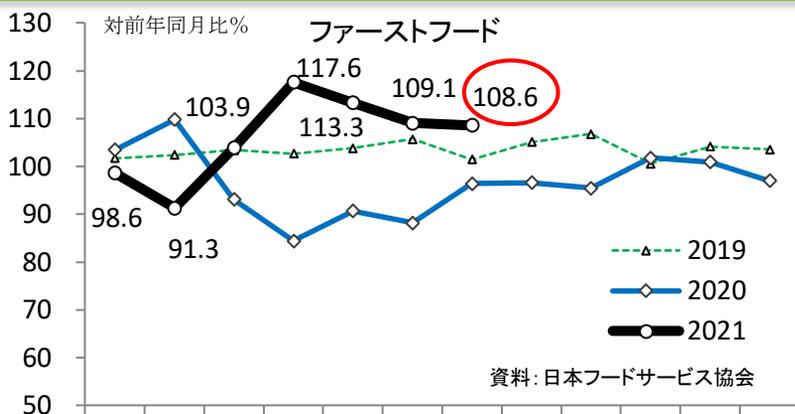
3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ ファーストフード

全店売上高 対前年同月比

7月 8.6% 増加

対前々年同月比 4.7% 増加

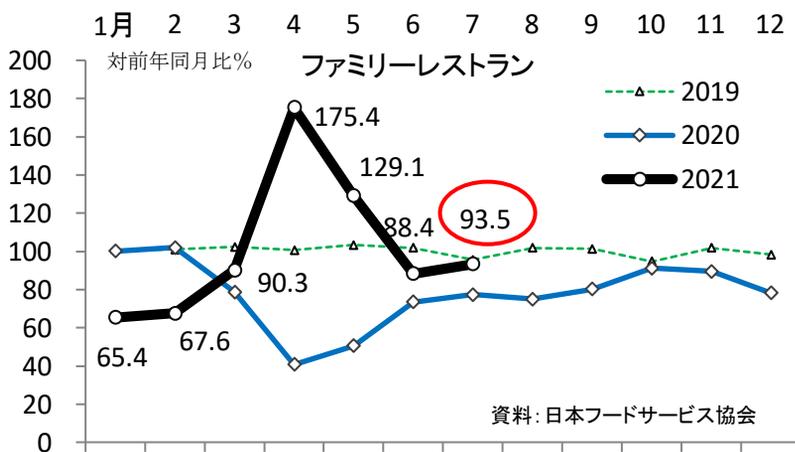


○ ファミリーレストラン

全店売上高 対前年同月比

7月 6.5% 減少

対前々年同月比 27.6% 減少

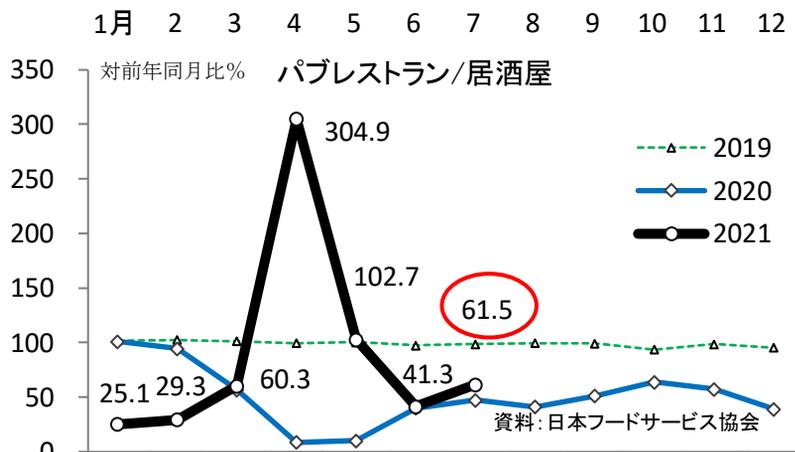


○ パブレストラン/居酒屋

全店売上高 対前年同月比

7月 38.5% 減少

対前々年同月比 71.0% 減少

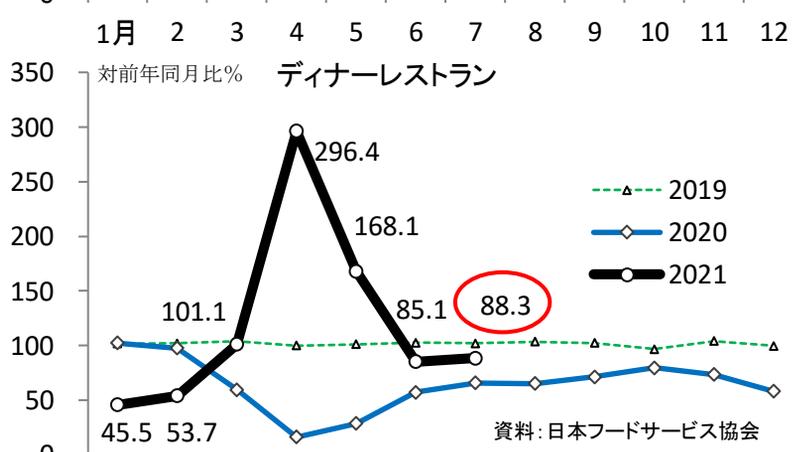


○ デイナーレストラン

全店売上高 対前年同月比

7月 11.7% 減少

対前々年同月比 42.2% 減少



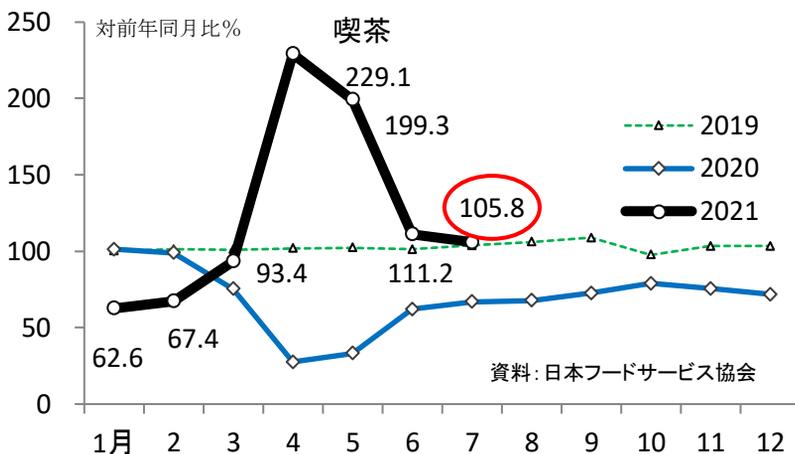
3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ 喫茶

全店売上高 対前年同月比

7月 5.8% 増加

対前々年同月比 **29.3% 減少**



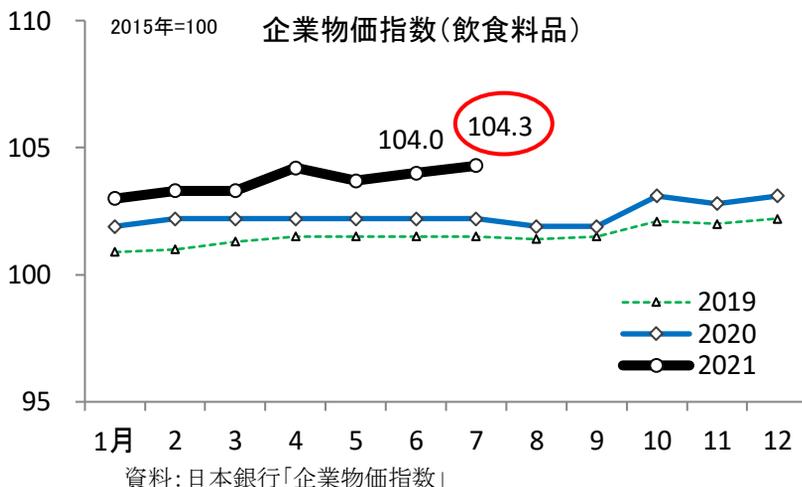
4. 食料品の物価

○ 企業物価指数

企業物価指数は、企業間で取引される品質を固定した商品（財）の価格を継続的に調査し、現在時点の価格を、基準時点（2015年）の価格を100として、指数化したもの。

このうち、食品製造業（飲食料品）の出荷販売価格について、みることができます。

資料：日本銀行「企業物価指数」



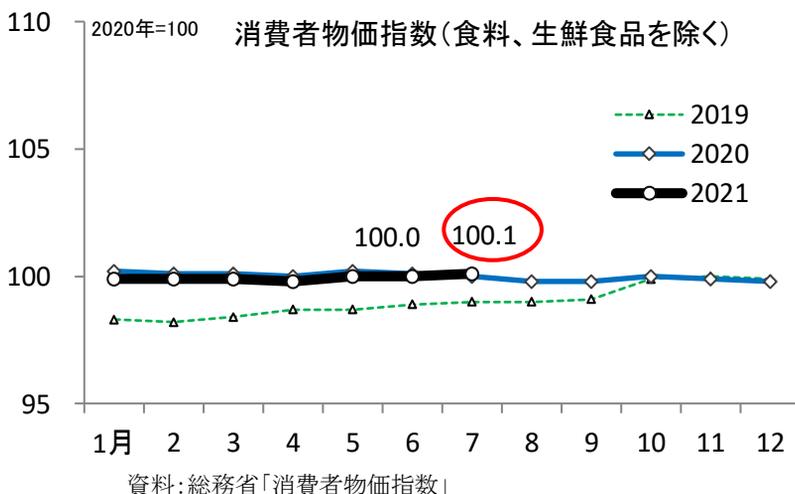
飲食料品 対前年同月比

7月 2.1% 上昇

○ 消費者物価指数 (食料(生鮮食品除く))

食料 対前年同月比

7月 0.1% 上昇



2021年の農林水産物・食品 輸出額（1-7月）品目別

農林水産省
輸出・国際局

品目	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
加工食品	256,059	+29.5
アルコール飲料	66,589	+82.1
日本酒	20,951	+94.1
ウイスキー	30,462	+95.8
焼酎（泡盛を含む）	860	+43.4
ソース混合調味料	23,423	+20.4
清涼飲料水	22,935	+19.1
菓子（米菓を除く）	11,287	+37.3
醤油	5,056	+29.1
米菓（あられ・せんべい）	3,163	+34.7
味噌	2,508	+16.7
畜産品	59,626	+50.3
畜産物	45,963	+52.0
牛肉	27,163	+115.2
牛乳・乳製品	13,980	+5.0
鶏卵	3,137	+35.1
豚肉	1,041	+27.9
鶏肉	641	▲ 44.7
穀物等	29,937	+9.5
米（援助米除く）	3,162	+4.3
野菜・果実等	26,732	+36.8
青果物	16,585	+45.9
りんご	6,677	+67.9
いちご	2,939	+75.6
もも	1,327	+26.1
ながいも	1,285	+13.0
かんしょ	1,161	+24.6
ぶどう	958	+19.1
かんきつ	547	+69.9
なし	23	+8.1

品目	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
その他農産物	69,147	+14.3
たばこ	8,990	+22.8
緑茶	11,311	+37.0
花き	6,155	▲ 16.5
植木等	5,146	▲ 23.3
切花	890	+56.9
林産物	33,333	+45.5
丸太	13,496	+49.0
製材	5,446	+55.0
合板	4,293	+49.6
木製家具	2,955	+53.1
水産物（調製品除く）	127,342	+38.6
ホタテ貝（生鮮・冷蔵・冷凍等）	28,810	+85.5
さば	17,238	+13.2
ぶり	13,863	+58.7
かつお・まぐろ類	10,919	▲ 7.4
真珠（天然・養殖）	9,695	+242.2
いわし	5,181	▲ 12.1
たい	2,921	+31.2
さけ・ます	1,844	+0.6
すけとうたら	1,182	+23.9
さんま	505	+39.8
水産調製品	35,182	+18.3
なまこ（調製）	8,960	▲ 7.8
練り製品	6,049	+12.3
貝柱調製品	3,262	+11.9
ホタテ貝（調製）	3,214	+78.4

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

2021年の農林水産物・食品 輸出額 国・地域別

農林水産省
輸出・国際局

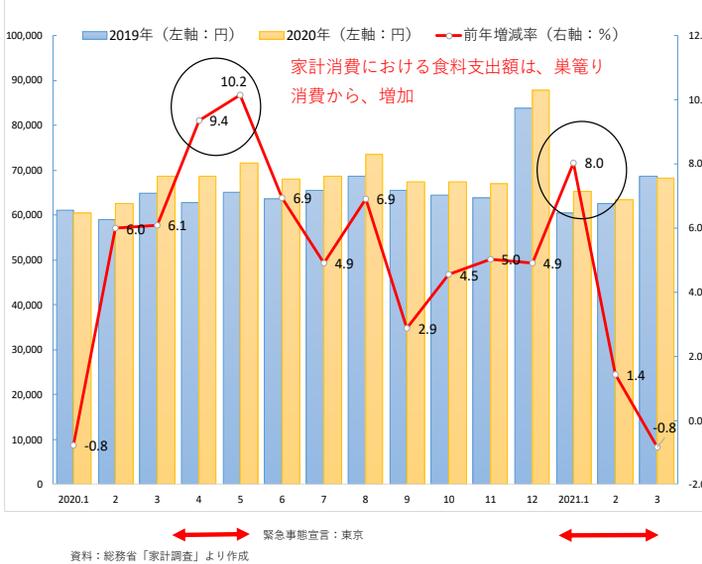
順位	輸出先	2021年1-7月（累計）						2021年7月（単月）					
		輸出額 (億円)	金額 構成比 (%)	前年 同期比 (%)	輸出額内訳（億円）			輸出額 (億円)	前年 同月比 (%)	輸出額内訳（億円）			
					農産物	林産物	水産物			農産物	林産物	水産物	
1	中華人民共和国	1,226	19.2	+38.5	780	147	299	208	+63.0	120	23	66	
2	香港	1,213	19.0	+13.4	832	10	370	183	▲ 2.7	126	2	56	
3	アメリカ合衆国	915	14.4	+44.4	670	38	207	137	+51.6	101	6	31	
4	台湾	630	9.9	+28.7	482	20	128	83	+18.3	62	2	19	
5	ベトナム	332	5.2	+14.3	212	6	114	48	+6.3	32	1	15	
6	大韓民国	275	4.3	+22.8	166	27	82	46	+22.8	30	5	12	
7	タイ	260	4.1	+6.7	127	4	129	38	▲ 9.2	19	1	18	
8	シンガポール	222	3.5	+52.5	188	3	32	27	+36.6	23	0	4	
9	オーストラリア	125	2.0	+49.4	109	1	15	17	+20.8	15	0	2	
10	フィリピン	118	1.8	+40.2	46	56	15	18	+19.1	6	10	3	
-	E U	334	5.2	+45.4	287	9	38	53	+65.7	48	1	4	

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

○家計消費における食料支出額は、巣籠り消費から、増加

注：総務省「家計調査」は、家計調査は、一定の統計上の抽出方法に基づき選定された全国約9千世帯の方々を対象として、家計の収入・支出、貯蓄・負債などを毎月調査。

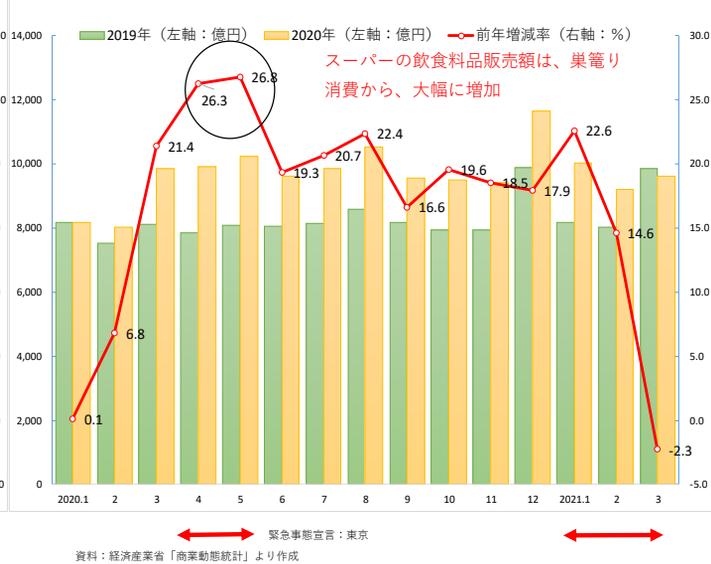
図1 家計消費における食料（外食を除く）支出額の変化



○スーパーの飲食料品販売額は、巣籠り消費から、大幅に増加

注：経済産業省「商業動態統計」は、全国の商業を営む事業所及び企業の販売活動の統計。

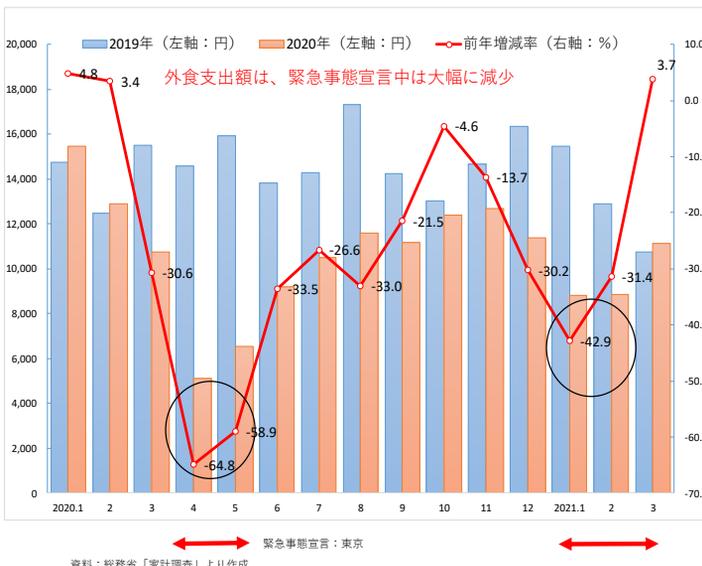
図2 スーパーにおける飲食料品販売額の変化



○外食支出額は、緊急事態宣言中は大幅に減少

注：同上参照

図3 家計消費における外食支出額の変化



○外食チェーンの売上高は、緊急事態宣言中の営業時間、酒類等の規制により大幅に減少

注：一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査」は、外食チェーン企業203社約3万9千店の売上高等についての業態別の統計。

図4 外食チェーンにおける売上高（前年同月比）の変化

